

日本原子力学会 核燃料部会
第41回 全体会議 議事録

日時：平成26年3月28日(金)12:00～12:20

場所：東京都市大学世田谷キャンパス

出席者：約20名

[1]庶務幹事よりの報告

- ・庶務幹事野田氏急用のため26年度庶務幹事予定の藤塚の代理により、配布資料を用いて、活動状況の報告、25年度収支見通し及び26年度予算などの説明がなされた。これらに対して特に質問、意見はなかった。

1-1. 活動報告

1-1-1. 全体会議

- ・平成25年9月5日(木) 12:00～12:20 於、八戸工業大学
- ・平成26年3月28日(金) 12:00～ 於、東京都市大学

1-1-2. 運営小委員会

- ・平成25年度第1回 平成25年4月26日(金) 東京大学
- ・ 第2回 平成25年7月11日(木) 夏季セミナー会場
- ・ 第3回 平成25年11月21日(木) 学会事務局
- ・ 第4回 平成26年3月4日(火) 学会事務局

1-1-3. 核燃料・夏期セミナー

- ・平成25年7月10日(水)～12日(金)
- ・岐阜県下呂市 飛騨路下呂温泉「小川屋」

1-1-4. 安全対策高度化に向けた核燃料技術戦略マップ策定WG(勉強会)

- ・東北大学阿部先生を主査に、第1回WGを25年12月に東北大学にて開催。

1-1-5. ジルコニウムに関するWG(ジルコネット)

- ・東北大学阿部先生を主査に、第1回WGを26年4月に原子力安全推進協会で開催予定。

1-1-6. 熔融事故における核燃料関連の課題検討WG

- ・25年秋の大会の企画セッションで報告し、活動を終了した。

1-1-7. 溶融塩技術の原子力への展開研究専門委員会

- ・平成 25 年 6 月の原子力学会理事会で設立が承認された。

1-1-8. 軽水炉・高速炉におけるトリウム燃料の利用WG

- ・活動を休止していたが、大阪大学山中先生を主査に活動を再開し、第 1 回 WG を平成 25 年 11 月、第 2 回 WG を 26 年 3 月に開催した。

1-1-9. 国際会議・セミナー

- ・ WRFPM2014 準備として、平成 26 年 3 月に第 3 回実行委員会、国内プログラム委員会を開催し、26 年 4 月に第 3 回組織委員会を開催予定。26 年 3 月時点で、登録者数 158 件、アブストラクト提出者が 139 件となっている。
- ・第 2 回 ANFC を WRFPM 後の 26 年 9 月に仙台で開催する。締切時点で 36 件の投稿があった。

1-2. 平成 25 年度収支見通し及び平成 26 年度予算

- ・平成 25 年度の通常予算収支は、収入が 269,000 円、支出見通しが 205,500 円となり、余剰金の 63,500 円は学会に返納する。夏期セミナー、ロードマップ WG の本部繰入後の余剰金と 25 年度末の繰越金合計の 1,111,315 円が 26 年度の繰越金となった。
- ・平成 26 年度の通常予算は収入が 260,000 円、支出が 410,000 円(うちシンポジウム等への支出 150,000 円)を見込み、26 年度末の繰越金は 961,315 円になると予想される。

[2]部会長等の選任(審議)

- ・副部会長の 2 名体制、新副部会長の選任、運営小委員の選任を審議し、副部会長の増員に関し、核燃料部会規約変更の必要性について質問があったが、現行規約の「副部会長若干名」に抵触しないとの説明で、すべて承認された。
- ・新副部会長 (日本核燃料開発株) 平井 睦 氏
- ・運営小委委員の交代
 - (四国電力) 武田 高明 委員 → 藤塚 信典 委員
 - (三菱原子燃料) 高野 賢治 委員 → 手島 英行 委員
 - (原子燃料工業) 松浦 敬三 委員 → 小野 慎二 委員

[3]第 2 回部会賞(奨励賞)の選考

- ・第 2 回核燃料部会部会賞(奨励賞)の選考結果の報告と授賞式を行い、受賞者から受賞の挨拶が行われた。

受賞者：高野 公秀 氏（JAEA：マイナーアクチノイド含有燃料の調整及び基礎特性に関する研究）

[4]平成 26 年度業務担当等

以下の通り報告し、特に質問、意見はなかった。

4-1. 平成 26 年度業務担当（報告）

担当		H26 年度担当者
広報		[京都大] 森山委員
部会報		[ジロプ・ダクツ] 岩元委員
国際活動		安部田副部長
国内企画(横断活動、年会時企画)		[東北大] 佐藤委員、[JAEA] 逢坂委員
庶務幹事(財務含む)		[四国電力] 藤塚委員
夏期セミナー幹事		[大阪大] 山中委員、[JAEA] 永瀬委員
部会代表	部会等運営委員	平井副部長
	評議員	部長、安部田副部長

部会員数 429 名(平成 26 年 3 月 17 日現在)

4-2. 今後の活動計画

- ・部会報：49-2 号(平成 26 年 5~6 月頃発行予定)
- ・講演会：未定
- ・夏期セミナー：平成 26 年 7 月 10 日(木)~12 日(土)静岡県掛川市ヤマハリゾートつま恋
- ・トリウム燃料に関する国際セミナー：平成 26 年 4 月 9 日 東京大学
- ・全体会議：平成 27 年春の年会時(平成 27 年 3 月 20 日~22 日、茨城大学)
- ・運営小委員会：平成 26 年度第 1 回運営小委員会(平成 26 年 5 月 20 日予定)

[5]部会長等挨拶

- ・湊部会長から、「部会員の皆様がうまく活動できるように環境整備を行っていききたい、その一環で副部長 2 名体制とした。うまくローテーションしてやっていきたい」との挨拶があった。
- ・平井新副部長から、「会長をサポートして、部会活動を活性化していきたい」との挨拶があった。

以上